

総合火力を結集 令和2年度総合戦闘射撃



小銃小隊による射撃



155mm榴弾砲(FH-70)射撃



120mm迫撃砲射撃



81mm迫撃砲射撃



10式戦車射撃



87式対戦車誘導弾射撃



01式軽対戦車誘導弾射撃



狙撃銃射撃



小銃小隊による射撃



小銃小隊による射撃

連隊は令和3年3月10日(水)～11日(木)の間、春の足音が近づく日出生台演習場において令和2年度総合戦闘射撃を実施した。本訓練は、普通科・機甲科・特科の諸職種部隊の統合された火力発揮能力及び連携の向上を図る事を目的に実施された。

状況は、特科、重迫撃砲中隊、迫撃砲小隊の攻撃準備射撃から始まり、敵戦車の現出を対戦車小隊と戦車部隊の対戦車兵器による射撃で撃破し、小銃小隊は徒歩により前進する敵を各級指揮官の命令・号令・指示の下、相互に連携しながら機関銃や小銃を駆使し実戦的な射撃要領を以て演練した。訓練に對戦車小隊分隊長として参加した第2中隊 安藤翼 3等陸曹は「非実射訓練などで何度も協同連携動作や、射撃号令などを確認し射撃に臨みました。日頃の訓練成果を遺憾なく発揮でき、確実な射撃をする事が出来ました。今後も更に訓練し、頼れる分隊長を目指し精進していきたいです。」と感想を述べた。

今回の訓練で各級指揮官は、状況に応じた射撃指揮、諸職種部隊間の連携した火力の発揮を各隊員においては、命令・号令・指示に基づく正確な射撃動作等の練度を向上させた。第41普通科連隊は中村英昭 1等陸佐を核心として引き続き訓練に邁進し、「二丸」となり、いかなる任務にも即応できる強い連隊を目指していく。



発行責任所
別府市自衛隊協力会
印刷 (株)電子印刷センター

令和2年度
総合戦闘射撃

重迫撃砲中隊
訓練検閲



隊容検査



照準

また、検閲間は、強風や雨雪が降りしきる真冬並みの寒さの中、隊員一人一人が中隊長要望事項の「自己の任務の理解・実行」「一致団結」を胸に、適切かつ迅速な行動で陣地進入及び陣地変換等を行った。緊張感が漂う実弾射撃においては、砲測・射撃指揮班・前進観測班が三者連携し、気迫に満ちた掛け声と機敏な動作で、正確な射撃を実施した。

本検閲に弾薬手として参加し優秀隊員にも輝いた青谷風尚 陸士長は、「確実な弾薬の点検や装薬編合を実施し、中隊の任務達成に貢献できて良かった。これからも練成に励みたい。」とコメントした。重迫撃砲中隊は日頃の訓練成果を発揮し任務を完了した。



陣地変換



実弾射撃

令和3年2月25日(木)～3月1日(月)までの間、別府駐屯地及び日出生台演習場において重迫撃砲中隊訓練検閲を実施した。25日(木)、隊容検査が実施され、本検閲に対する準備状況や各隊員の任務完遂への意気込みを確認した。26日(金)早朝、駐屯地を出発し、射撃陣地到着後は速やかに陣地地域の安全化を図った。

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

連隊小火器射撃競技会

連隊は令和3年2月14日(日)、十文字原演習場において連隊小火器射撃競技会を実施した。本競技会は、中隊の戦闘射撃練度を把握するとともに、各種の状況における射撃姿勢での技術の向上を図る事を目的に実施され、各中隊から選抜された隊員は一発必中の精神で競技会に臨んだ。

当日は霧がかかり、競技開始時刻が遅れ心配されたが隊員達は集中を切らさず、小隊長・分隊長の適切な命令・号令・指示の下、小隊間で互いに相互連携しながら敵を発見し、正確・迅速な射撃を実施していた。優勝の栄冠は、本部管理中隊に輝いた。



射撃競技会(全景)



狙いを定める隊員

- | |
|-----|
| 成績 |
| 優勝 |
| 第2位 |
| 第3位 |
- 本部管理中隊
第2中隊
第3中隊

連隊通信競技会

連隊は令和3年2月3日(水)、駐屯地内において連隊通信競技会を実施した。本競技会は、各隊員の無線機操作能力の維持・向上を図る事が目的で学科試験と無線機の取扱い操作(車両無線機及び携帯無線機)の2種目に分かれて実施された。無線機の取扱い操作では、周波数の設定やメールの作成などが課題付与され、選抜された隊員達は、中隊の名誉の為に日頃の練成の成果を十二分に発揮していた。優勝の栄冠は、学科試験、実技試験共に1位を獲得した第3中隊に輝いた。



無線機の取扱い



学科試験

- | |
|-----|
| 成績 |
| 優勝 |
| 第2位 |
| 第3位 |
- 第3中隊
第4中隊
本部管理中隊

連隊観測競技会

連隊は令和3年2月3日(水)、十文字原演習場において連隊観測競技会を実施した。本競技会は、目標の発見、射距離判定及び射撃要求の精度の向上を図るとともに、情報と火力の連携による練度向上が目的で、各中隊選抜された12名(1コ組2名)総勢72名が参加した。実施要領は、射距離600m〜800mの位置に標的を配置し、目標発見から射距離の判定、8桁の地図座標で標的の位置を報告するもので、標的座標と実距離の誤差及び速度を点数化し評価するものである。

各中隊の選手達は、相互連携しながら8倍眼鏡(双眼鏡)や地図及びコンパス等を使用し、速やかに標的を発見し火力の要求を実施していた。優勝は、佐藤彰高 3曹が教官を務めた第1中隊で優秀組には、重迫撃砲中隊の江上達也 3曹と山下雄司士長が選ばれた。

成績

- | |
|-----|
| 優勝 |
| 第2位 |
| 第3位 |
- 第1中隊
本部管理中隊
重迫撃砲中隊

《優秀組》
36組中1位 陸士長 山下雄司
(重迫撃砲中隊)



優勝した第1中隊



観測する隊員

大分県警察との共同訓練

連隊は令和3年2月10日(水)、別府駐屯地において令和2年度大分県警察との共同訓練を実施した。本訓練は、自衛隊と警察の緊密な連携要領を演練して、共同対処能力の向上を図る事が目的で、今回で8回目の訓練となった。

訓練開始式終了後、訓練想定に基づき、共同調整所運営、緊急部隊移動、検問所運営等を演練した。また、治安出動時に自衛隊が任務遂行の為、現地に前進する際警察車両が先導する緊急部隊移動訓練の場面では、地元テレビ局や新聞社に対し訓練の様子を公開した。今回の訓練を通じ、お互いの役割や、相互能力を理解し、連携の強化を再認識する貴重な訓練となった。



訓練開始式



緊急部隊移動訓練



調整する隊員

各種教育

初級部隊通信

(12月9日~3月5日)



縛着訓練



有線構成

初級ATM

(1月18日~3月19日)



照準



陣地進入

初級らっぱ

(1月18日~3月10日)



行進吹奏



修了検定

補助担架

(2月3日~2月24日)



救急処置



患者搬送

令和2年度 連隊後方戦技競技会



開会式(統裁官訓示)



衛生競技会



らっば競技会



炊事競技会



車両競技会



閉会式(総合優勝第3中隊)

連隊は令和2年1月21日(木)、駐屯地内において令和2年度連隊後方戦技競技会を実施した。本競技会は、炊事・車両・衛生・らっばの4種目に分かれて実施され、それぞれの競技に選ばれた選手達は、これまでの練成の成果を遺憾なく発揮した。炊事競技会は、年度の自体炊事練成回数と調理評価・食味評価で審査され、各中隊6名編成、制限時間2時間40分以内で各中隊が工夫を凝らし主食・副食・汁物を調理した。優勝は、練成回数30回で鯖の味噌煮、竹輪の青のりマヨネーズ、豚汁を調理した第1中隊に輝いた。

車両競技会は、通年の部(運行管理・車両管理・安全管理)、実技の部(学科試験・車両の障害通過・運行前点検)で実施され、実技の部では、車長の的確な誘導の下、操縦手が全集中でハンドルを握り、相互連携しながら障害を通過、見事に第2中隊が優勝した。

らっば競技会は、各中隊4名の団体戦で実施され日課号音7曲(起床・点呼・食事・会報・課業開始・課業終了・消灯)の内3曲を抽選で決定、各中隊の選手達は、音の強弱を含む抑揚のついた吹奏を実施、練成の成果を発揮していた。優勝は最高得点をたたき出した上田爾亮(けいすけ)3等陸曹率いる第3中隊に輝いた。

衛生競技会は、年間を通じた隊員の健康管理状況と実技の部として各中隊10人が選抜され傷病者を相手に救急処置を実施し、各人が決められた時間内の適切な処置を評価するもので優勝は第3中隊に輝いた。なお後方戦技競技会の総合優勝はらっば競技会と衛生競技会の2冠を達成した第3中隊に輝いた。

成績

- 炊事競技会 優勝 第1中隊
- 車両競技会 優勝 第2中隊
- らっば競技会 優勝 第3中隊
- 衛生競技会 優勝 第3中隊
- 総合 優勝 第3中隊

連隊小部隊対抗訓練

連隊は令和3年3月22日(月)～26日(金)までの間、十文字原演習場において連隊小部隊対抗訓練を実施した。本訓練は、バトラーと呼ばれるレーザー交戦装置を使用して小部隊指揮官の実員指揮能力の向上と隊員各個の近接戦闘能力の向上を図る事が目的で、各部隊は「直接配備小隊となり重要防護施設を防護せよ。」の任務を付与され、ライナープレートや、蛇腹鉄条網などを使用し、警戒・監視の目を光らせ、各級指揮官の適切な状況判断及び隊員間の相互連携で、敵ゲリラコマンドウの重要防護施設への侵入を阻止した。



警戒



巡察



攻撃する対抗部隊

十文字原演習場野焼き

連隊は令和3年2月24日(水)、十文字原演習場において野焼きを実施した。野焼きは、春の訪れを告げる恒例行事として今年で48回目となり、演習場内からの火災発生時による周辺地域への延焼を防止するとともに害虫駆除を目的として毎年行われている。

午前9時に指揮所から着火の号令が発せられると、山頂付近から着火を開始した。当初は火の回りが遅かったが、次第にバチバチと大きな音を立てて山肌を黒く染めていった。燃焼後は、携帯消火器(ジェットシューター)などを使用し延焼防止に努め野焼きを終了した。



着火する隊員



野焼き(全景)



黒く焼けた演習場



平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

別府駐屯地業務隊

コンビニ リニューアルオープン

3月1日(月)、駐屯地のコンビニがリニューアルオープン。駐屯地のコンビニ業者が大分県からの撤退に伴い、経営者である(二財)防衛弘済会が新たな契約を締結しリニューアルオープンしたものである。

リニューアルに伴いマルチメディア端末が設置され、チケット販売やクーポンの発行、商品代金の支払い等が可能になるとともに、自衛隊用品はもとより、スイーツ類、ホットスナックなどの販売商品も以前より充実し利用者の評判は上々である。経営者の(一財)防衛弘済会は「リニューアルに合わせ新しいサービスの提供ができ、利便性の向上を図ることができた。今後も隊員のためになる店舗運営を行います。」と話されました。

別府駐屯地にお立ち寄りの際は、是非リニューアルしたコンビニをご利用ください。



自衛隊用品が充実



従業員による丁寧な説明

第404会計隊

会計特技練度試験

会計特技練度試験とは、会計特技の試験を実施しその練度を評価・判定し実務能力向上を促す事を目的として実施されるものです。

准曹士を対象としてそれぞれの階級により初級、中級、上級の特技を保有しており級に応じた問題が出題され解答していきます。問題の内容は、職種学校入校間に修学する全科目ですが部隊の職務によっては携わらない



【会計隊】会計特技1



【会計隊】会計特技2

厳しい問題も出題されるため、全員が幅広く一生懸命に取り組みました。本来なら会計隊本部(健軍)より試験の立会者が来て行いますが本年度はコロナ禍であるためVTCでの実施となりました。この様な試験を実施することにより日々の業務でのミスを無くすように努力しています。

第3普通科直接支援中隊

初級部隊通信教育に参加

吉村1士は、令和2年12月9日から令和3年3月15日までの間、第四一普通科連隊が実施する令和2年度陸士特技課程初級部隊通信に参加し優秀な成績を収めた為、褒章状を授与されました。



縛着

に、持ち前の明るさを活かし、積極的に班員の指導及び掌握を行い、円滑な訓練の実施に貢献しました。また、縛着や結線の練成については、課内外共によく練成を行い、自己の技術向上に努めていました。



吉村1士

これから中隊で演習等が行われる際には、部隊通信で学んだ技術を活かし、中隊の任務達成に貢献してくれることを期待します。

大分地方協力本部 大分地域援護センター

任期制就職補導教育支援

大分地域援護センターは、令和3年3月4日(木)に連隊が計画する任期制隊員の就職補導教育を支援した。

就職補導教育は各四半期に1回を基準に、その時期の特性に応じた内容を教育するもので、第四四半期は、「再就職者定着の成功の秘訣について」



就職決定者への説明



14名の任期制隊員等に実施した。採用通知を受けてから入社まで準備する事項及び就職後の心得等を教育し、参加者は終始真剣に教育を受け、再就職先の特性を理解したうえで心の構えの重要性を認識した。適職に再就職できるよう援助を行ってまいります。

第134地区警務隊別府派遣隊

警務隊の活動状況

警務隊は、令和3年2月に自衛官としての基礎である体力検定を実施して全員合格した。日頃の業務はデスクワークが主体であるが、24時間、365日いつ発生するかわからない事件事故等に対して適時適切に対応するためには、心身の健全、家庭の安定がなによりも大切であります。



体力検定実施状況

そのためには日々の体力維持向上、ストレスの軽減、勤務と休養のバランスなど様々な職務であつても注意すべきことではないでしょうか？部隊の団結、規律、士気に多大な影響を及ぼす事件事故の未然防止のため、引き続き、3密に注意して駐屯地・各部隊の規律維持に寄与していきたい。



駐屯地朝礼時における防犯講話

第304基地通信中隊 別府派遣隊

訓練始めを実施

派遣隊は令和3年1月19日(火)、抜けるような青空の元、訓練始めとして「扇山登山」を実施した。

別府のシンボルでもある扇山であるが、ほとんどの隊員が初めての登山となった。



山頂での集合写真



(基通)別府の街を一望

想像以上に険しい急坂の連続で、気温8度であつたが汗ばむほどの登山となった。

全員で声を掛け合いながら山頂を目指し70分ほどで登頂した。

山頂からの市街地、別府湾を一望できる展望はとても素晴らしい。日常とは一味違う清々しい気分となり訓練始めにふさわしく任務達成に対する士気が高揚した。

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

令和2年度別府駐屯地成人行事

別府駐屯地は、令和3年1月8日(金)、駐屯地内において令和2年度別府駐屯地成人行事を実施した。本行事の目的は、駐屯地所在部隊の新成人を祝福・激励するとともに、社会人並びに自衛官としての自覚を促す為に毎年行われている。2000年シドニーオリンピックやサザンオールスターズの「TSUNAMI」が大ヒットした年に産声を上げた66名は晴れて大人の仲間入りを果たした。

体育館において実施された新成人の主張では各人が、先輩隊員などを前に、「社会人としての自覚を持ち日々努力していきたい」「今まで育ててくれた両親へ恩返ししたい。」など力強くこれからの決意を述べた。また、中村英昭駐屯地司令は新成人に対し「将来自分が何で生計を立てていくのか、スポーツを始めるとか、小さな事でもいい。目標を立てて努力する事は人生を豊かにする。是非、志を立ててもらいたい。また感謝を忘れないでほしい。君達は勝手に生まれて、勝手に成人になったわけではない。生み育ててくれた両親がいるし、その中で培ってきた兄弟の絆とか、先輩、後輩、誰かに必ず支えられて生きている。感謝の心を忘れないでほしい。」と訓示を述べた。その後、記念撮影を実施し、グラウンドにおいて20年後の自分に対するメッセージを書いたタイムカプセルを埋設し、全ての行事を終了した。

晴れの門出を迎えた新成人達は、大人としての自覚を持ち、新たな目標に向かって歩み始めた。



新成人の主張



タイムカプセルの埋設



記念撮影

航空機体験搭乗

別府駐屯地は令和3年2月20日(土)、航空機体験搭乗を実施し大分県在住の一般の方々や、自衛隊協力者など70名が参加した。この事業は、佐賀県目達原駐屯地に所在する第4飛行隊の支援を受けて実施するものでありフライトに先立ち安全教育が行われ、参加者達は2機の航空機に分かれ緊張した様子を見せながらも笑顔で搭乗しソーシャルディスタンスを保ちながら駐屯地・高崎山周辺までの空の旅を楽しんだ。

また、フライト待ちの間は広報資料室見学や、軽装甲機動車・高機動車などの装備品展示も行われ、参加者達は自衛隊への更なる理解と隊員との親睦を深め、思い出深い一日を過ごし駐屯地をあとにした。



体験搭乗



離陸するUH-1



広報資料室見学

駐屯地陸士ボランティア活動

駐屯地陸士会は令和3年2月27日(土)、駐屯地曹友会長をはじめ駐屯地各部隊から30名の陸士が参加して駐屯地周辺地域のボランティア活動(ゴミ拾い)を実施した。本活動の目的は、別府駐屯地近傍環境の美化に貢献するとともに、隊員のボランティア意識の向上を図る事である。

実施要領は、2コースに分かれて道路(側溝)のゴミ拾いを行い、参加した隊員達は黙々と道路脇や側溝などに捨てられた缶やペットボトルなどを拾い集めた。ボランティア活動に参加した本部管理中隊峯大河陸士長は「ボランティア活動へ参加し、皆さんのゴミが落ちていない事に驚きました。これからは、大好きな別府の街をきれいに保てるよう別府の環境美化に努めたいです。また機会があれば必ず参加します」と感想を述べた。

本活動を通じて隊員のボランティア意識の向上と周辺環境の美化に協力することが出来た。



ゴミを拾う隊員



ゴミを拾う隊員



記念撮影

曹友会活動



曹友会海釣り大会 入賞者表彰



真鯛の部1位 山崎3曹



訓練隊へ激励品の贈呈

別府駐屯地 公式Twitter 開始しました!



陸上自衛隊別府駐屯地(公式) @Camp_Beppu

陸上自衛隊別府駐屯地のTwitterを開設しました。別府駐屯地をたくさんの人達に知っていただくため駐屯地の活動(行事・訓練風景・隊員の様子等)を発信していきたいと思ひます。あわせて、別府駐屯地ホームページも是非ご覧ください。#陸上自衛隊 #第4師団 #別府駐屯地 #別府 #第41普通科連隊 #扇山

mod.go.jp/gsdf/wae/4d/be...

2020年4月からTwitterを利用しています

86 フォロー 5,240 フォロワー

令和2年4月より陸上自衛隊別府駐屯地のTwitterを開設しました。別府駐屯地をたくさんの方々に知っていただく為、駐屯地の活動(訓練風景・行事・隊員の様子等)を発信しています。あわせて、別府駐屯地ホームページも是非ご覧ください。

4月1日現在、フォロワー数5000人を突破しました。皆様の多数のフォローを宜しくお願い致します。

目指せ夢は大きく1万人!